



1部

作曲家若かりし頃の作品

- ・ロマンスとスケルツォ 作曲:ラフマニノフ
- ・シンフォニア 第10番 作曲:メンデルスゾーン

2部

世界の民族楽器との共演

1. 里の秋 (オカリナ) 作曲:海沼 實
2. コンドルは飛んでゆく(ケーナ) アンデス民謡
3. 蘇州夜曲 (二胡) 作曲:服部 良一
賽馬 作曲:黄海懐
4. 日曜はダメよ (ブズーキ) 作曲:マノス・ハジダキス
5. 津軽じょんがら節 (津軽三味線) 津軽民謡
 - ・上記1. 2. 3. 4の編曲:島崎 洋
 - ・5の編曲:甲斐 靖文(補作:島崎 洋)

3部

北の国の名曲

- ・アンダンテ・フェスティーボ 作曲:シベリウス
- ・弦楽セレナーデ 作曲:エルガー

<Stage1>

作曲家若かりし頃の作品

1.ロマンス (ラフマニノフ)

名ピアニストでもあったラフマニノフは、チャイコフスキーの流れをくむ、いわゆるモスクワ楽派の作曲家です。

この弦楽四重奏曲は、書き始めた頃に、家庭の事情や、自分自身も心の病を抱えるなどしたためか、「ロマンス」と呼ばれるアンダンテの第2楽章とアレグロの3楽章のみの未完成の作品となっていました。それでも、哀愁を帯びた2楽章の「ロマンス」は名曲として今でも好まれ、演奏される機会が多くなっています。

2.弦楽のためのシンフォニー第10番 口短調 (メンデルスゾーン)

メンデルスゾーンは、12歳から14歳にかけて自分の勉強のために(習作)13曲の弦楽のためのシンフォニーを作って、家庭内音楽会で披露していたそうです。

今回演奏する第10番は一楽章だけからなる曲で、変則的な構成になっています。

●解説:高橋 文明(チェロ)



<Stage2>

世界の民族楽器との共演

第2部は、世界中からいろいろな民族楽器を集め弦楽オーケストラと共演するという、北広島弦楽合奏団ならではの斬新な企画です。珍しい楽器も登場します。乞うご期待!

1.里の秋 (オカリナ) 独奏:島崎 洋

オカリナは日本でも愛好者が多い土笛ですが、イタリア語で「小さなガチョウ」という意味を持ち、現在の形になったのは1800年代のイタリアだそうです。

皆さんよくご存知の日本の唱歌を演奏します。

●解説:島崎 洋(指揮・編曲)



2.コンドルは飛んでゆく (ケーナ)

独奏:島崎 洋

アンデスの民族楽器ケーナは、葦でできた筒に穴が開いているだけの単純な構造ですが、意外なほどの音量と表現力があります。ポリビアタイプとアルゼンチンタイプの二種類がありますが、本日演奏するのはポリビアタイプです。

ケーナの代表曲「コンドルは飛んでゆく」をフォルクローレバージョンで演奏します。

3.蘇州夜曲・賽馬 (二胡) 独奏:遠山 夕希子

二胡は中国の民族楽器ですが、弓の毛が二本の弦の間を通るような構造になっていて、使う弦によって圧力をかける方向が内と外で異なります。指板もないことから、ヴァイオリン属とはずいぶん演奏方法が異なる擦弦楽器です。本日は李香蘭さんの「蘇州夜曲」と、二胡の代表曲で、疾走する馬を描写した「賽馬」という曲を演奏します。

4.日曜はダメよ (ブズーキ) 独奏:齋藤 裕之

ギリシャの民族楽器ブズーキをご存知ですか?見た目は首の長いマンドリンのお兄さんという感じで、弦が2×4本張っている構造も似ています。でも調弦や弦の張力がずいぶん異なるため、マンドリン奏者がすぐに弾けるといえるものではありません。

演奏する曲は、ブズーキと言えばこの曲、映画「日曜はダメよ」のテーマ曲です。

5.津軽じょんがら節 (津軽三味線)

独奏:横谷 僚士

最後は、日本から津軽三味線の迫力ある音色をお楽しみください。

撥(バチ)を太棹三味線の皮に叩きつけるように弾いたり掬ったりしながら、その合間に指で押し弾いたりする独特な奏法は、まさに津軽の風土に根差したものだと言えるでしょう。

代表曲である「津軽じょんがら節」をお楽しみください。



<Stage3>

北の国の名曲

1.アンダンテフェスティーボ (シベリウス)

シベリウスが59歳の時、サイナトゥサロ製作所(合板の会社)からの依頼で、その25周年記念祝賀会のための曲として書かれたとのこと。しかし曲の終わり方もアーメン終止で、いかにも讚美歌風な荘厳な曲になっています。

2 弦楽セレナーデ 作品20 (エルガー)

エルガーの作品の中でも比較的早い時期に広く認められた作品です。全曲の演奏時間は10数分という短い曲ですが、エルガーらしい美しいメロディーに溢れています。故郷ウスター時代に着手され、1892年にセレナーデとして完成しています。愛妻家として知られるエルガーは、この曲を妻キャロライン・アリスに結婚記念日のプレゼントとして贈っています。

第1楽章 アレグロ・ピアチェヴォーレ

第2楽章 ラルゲット

第3楽章 アレグレット

●解説:高橋 文明(チェロ)